

第1章

高津区はこんなまち

- 1 高津区のプロフィール
- 2 統計データから見る高津区の特徴
- 3 地区(地域ケア圏域)の概況
- 4 各種調査から知る地域の声



■人口 234,596人 ■世帯数 117,250世帯
■面積 17.10 km² (令和5(2023)年9月1日現在)

1 高津区のプロフィール

高津区の木



高津区の花

高津区の花



高津区の花
すいせん

- 高津区は、多摩川や二ヶ領用水の流れる平坦地と、多摩丘陵の一角を形成する丘陵地で形づくられ、豊かな水辺空間と起伏ある地形が特徴となっています。
- 昭和 47(1972)年に川崎市が政令指定都市に移行した際、5つの行政区のひとつとして誕生し、昭和 57(1982)年の行政区の再編により宮前区が分区して現在の高津区となっています。
- 江戸時代に大山街道沿いの宿場町として賑わった二子地区や溝口地区では、多くの人々が交流し商業が栄えるとともに、歌人・岡本かの子、陶芸家・濱田庄司、画家／彫刻家・岡本太郎や詩人／童謡作家・小黒恵子など多くの芸術家を輩出しています。また、橘地区には、本市初の国史跡である橘樹官衙(たちばなかんが)遺跡群をはじめ、市内で唯一現存する前方後円墳を有する蟹ヶ谷古墳群など、古代かわさきの記憶を今に残す豊富な歴史的・文化的資源が存在しています。
- 市街地の発展は、昭和初期に玉川電気鉄道溝ノ口線(現・東急田園都市線)と南武鉄道(現・JR南武線)の開通を契機として始まり、戦後は、東京への通勤圏として住宅需要が増大したことに伴い、宅地・マンションの開発や溝口駅北口再開発等の都市基盤の整備が進められてきました。分区当時、146,793人(昭和 57(1982)年 7月 1日当時)だった人口は、234,596人(令和5(2023)年9月1日現在)となり、市内で3番目に多くなっています。将来人口推計では、令和 17(2035)年に人口のピーク(248,000人)を迎えることが予測されており、今後も人口増加が続く見込みとなっています。
- 自然や歴史・文化的特性に加え、高津区は市内でも製造業の事業所数が多く、川崎のものづくりを支える中小の加工組立企業をはじめ、研究開発型企业やベンチャー企業が数多く立地しています。

高津区的主要地域資源・魅力など



区民の憩いの場・多摩川



大山街道の歴史を再現した納太刀



市内初の国史跡 橘樹官衙遺跡群
(「橘樹郡衙跡」発掘風景)



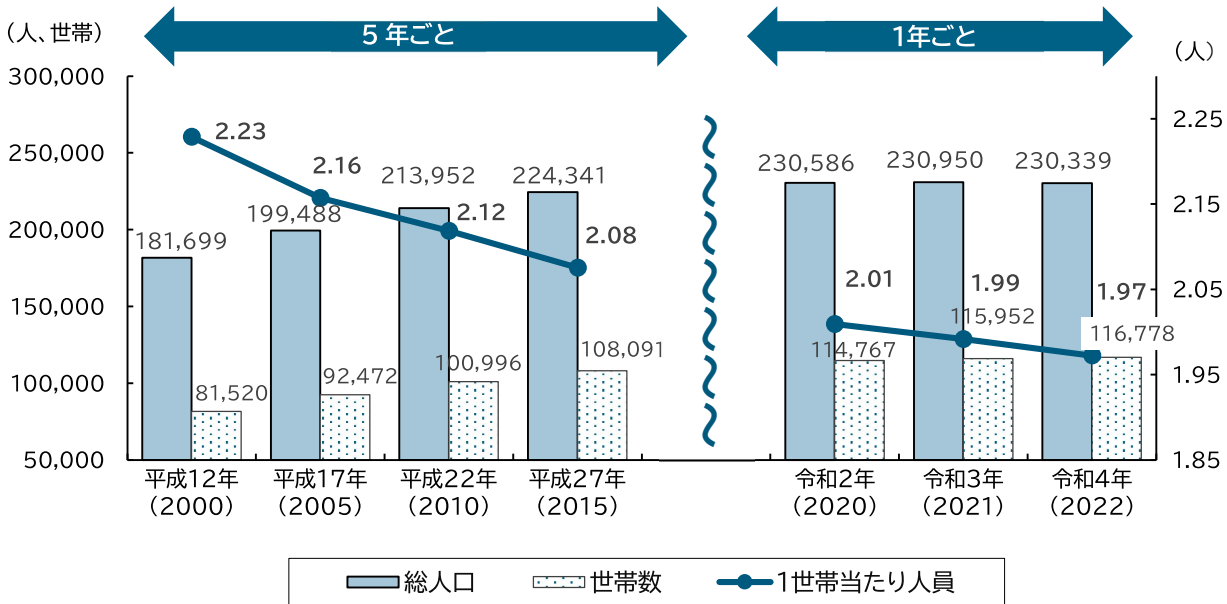
橘地区に広がる「農のある風景」
(ステキに映え農フォトコンテスト
「入賞作品」より)

2 統計データから見る高津区の特徴

(1)人口

①人口はわずかに減少、世帯数は増加傾向、1世帯あたりの人員は減少傾向

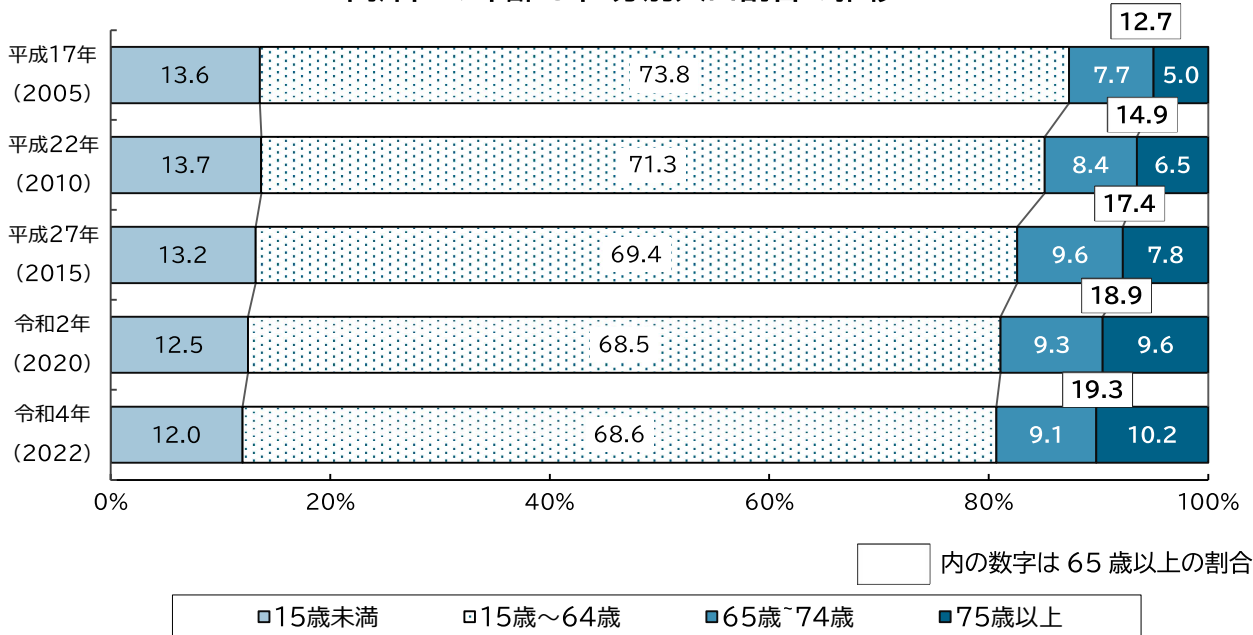
高津区の総人口と世帯数の推移



資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」
(各年9月末日現在)

②年少人口は減少傾向、老年人口は増加傾向

高津区の年齢3区分別人口割合の推移

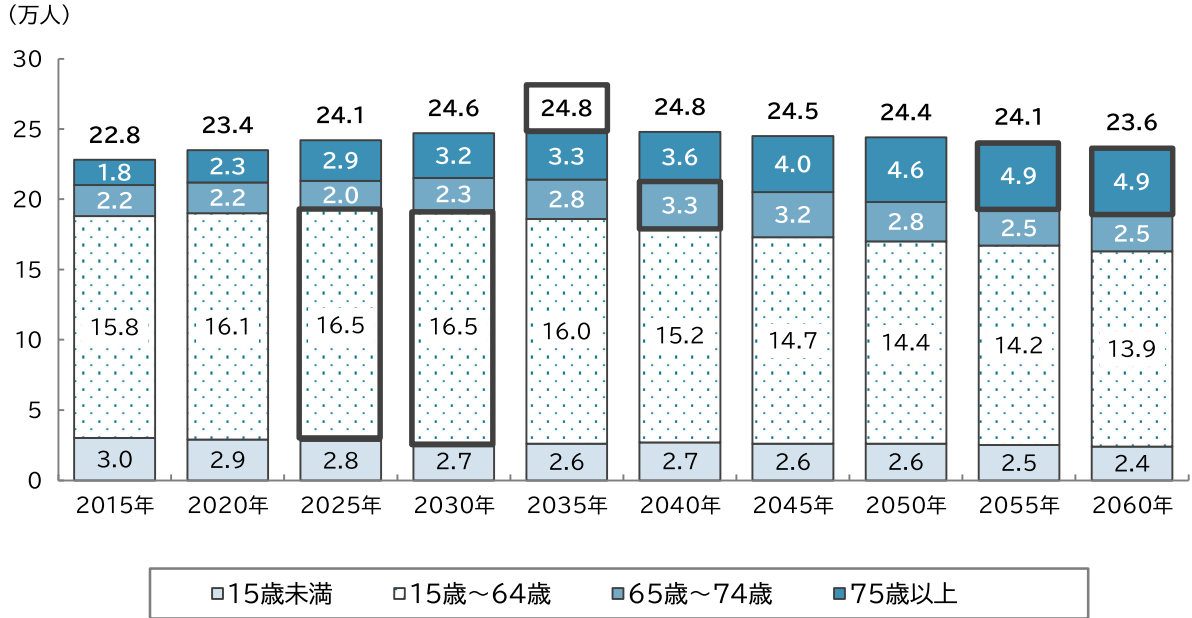


資料：川崎市統計情報「年齢3区分別人口の推移」
(各年10月1日現在)

③総人口は 2035 年に約 24 万 8,000 人でピーク

※端数処理の関係で、合計値が一致しない場合があります。

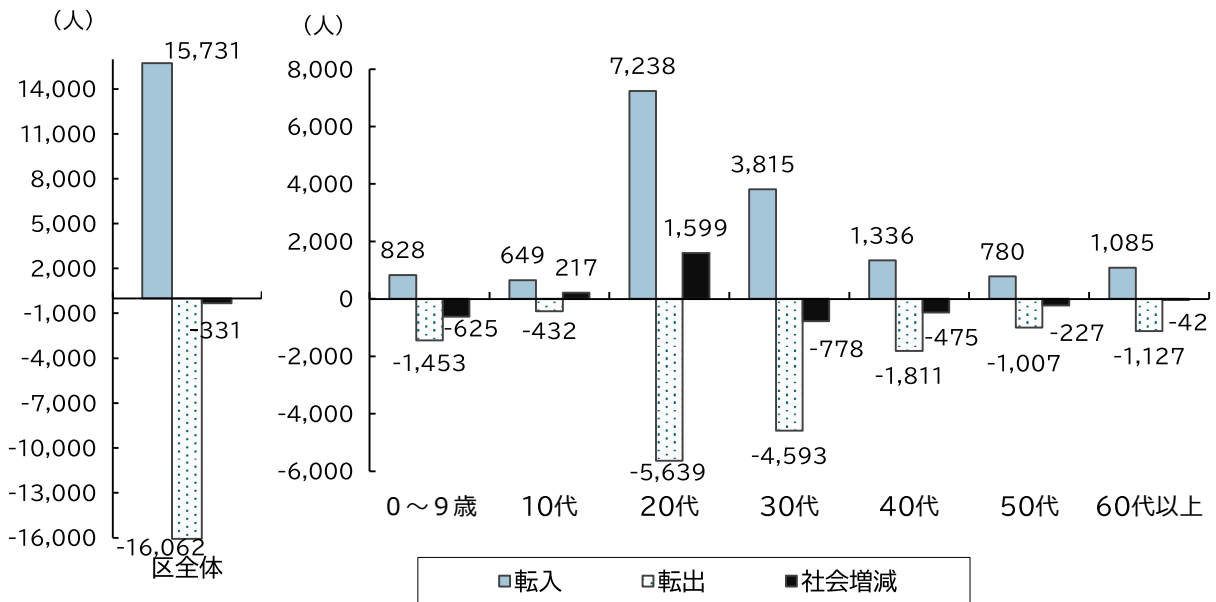
高津区内の年齢4区分別将来人口推計



資料:「川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計(更新版)」
(各年 10月1日現在)
令和4年2月 川崎市総務企画局

④20 代、30 代を中心に転出入が多い

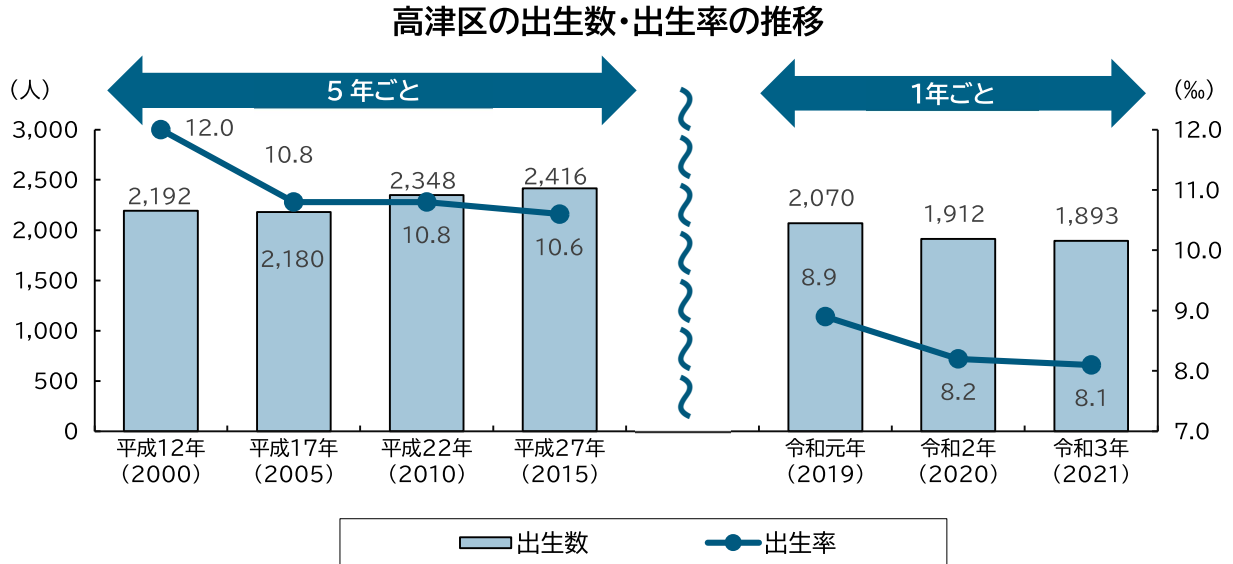
高津区内の転出入の状況



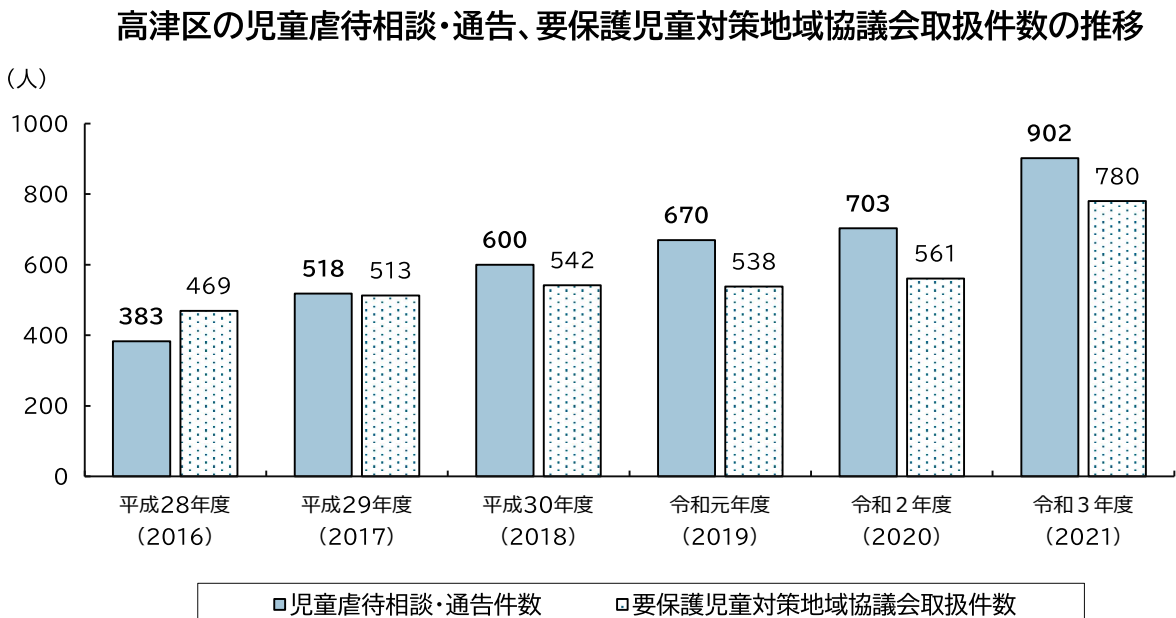
資料:川崎市統計情報「年齢5歳階級別移動人口」(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(2)子どもの状況

①出生数・出生率ともに減少傾向



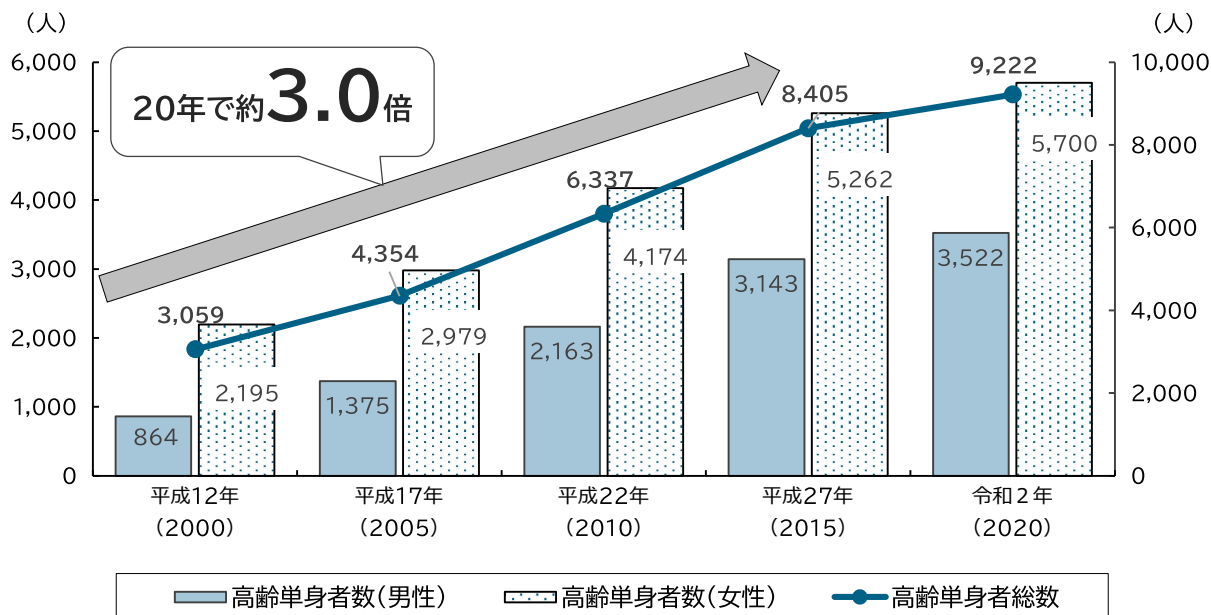
②児童虐待相談・通告件数は増加傾向



(3) 高齢者の状況

①ひとり暮らし高齢者は男女とも増加傾向

高津区のひとり暮らし高齢者数の推移

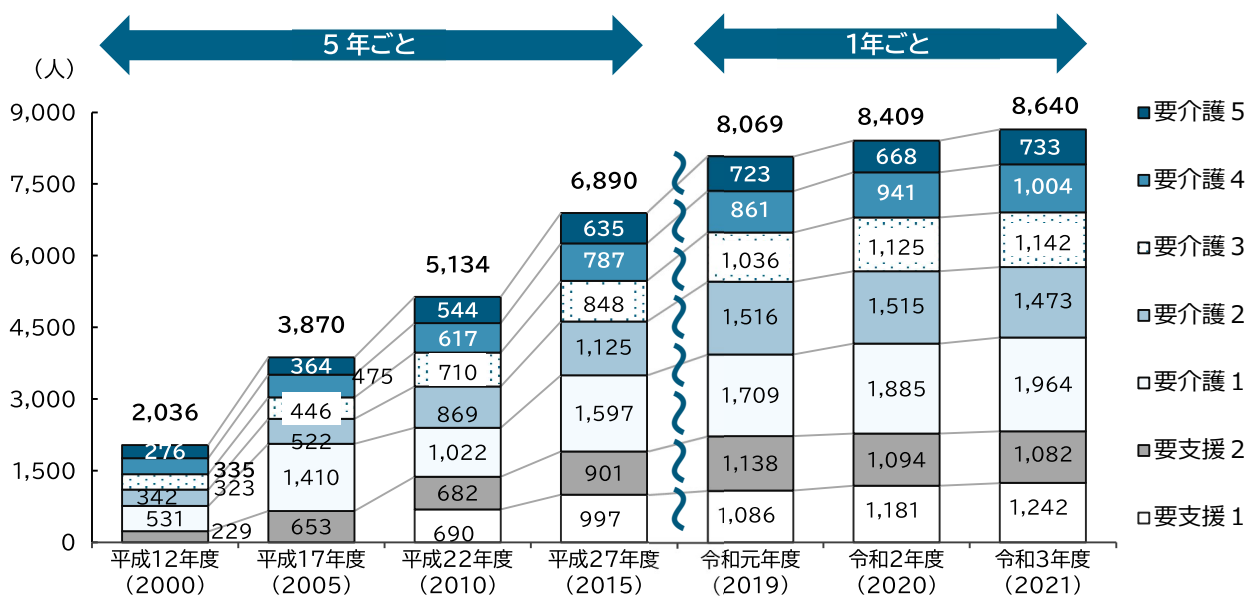


資料：国勢調査

②近年では特に要支援者、要介護1・2認定者が増加傾向

※第1号被保険者のみ

高津区の要介護・要支援認定者数の推移



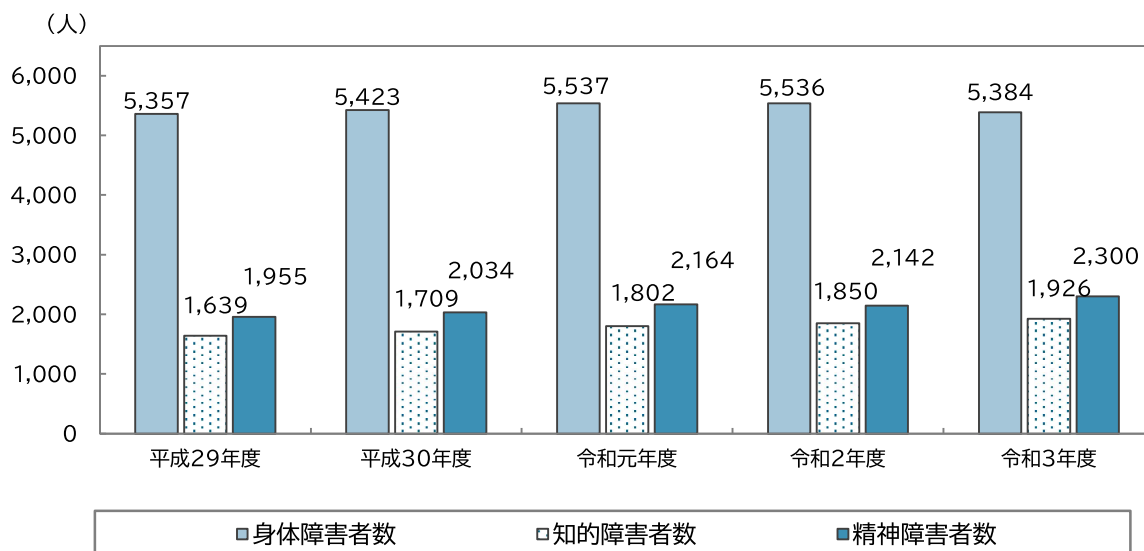
資料：川崎市統計書(各年度未現在)

(4) 障害者の状況

① 障害者数は身体障害者を除き増加傾向

※知的障害者は、判定のみを受けて療育手帳を所持していない者を含みます。

高津区の障害者数の推移

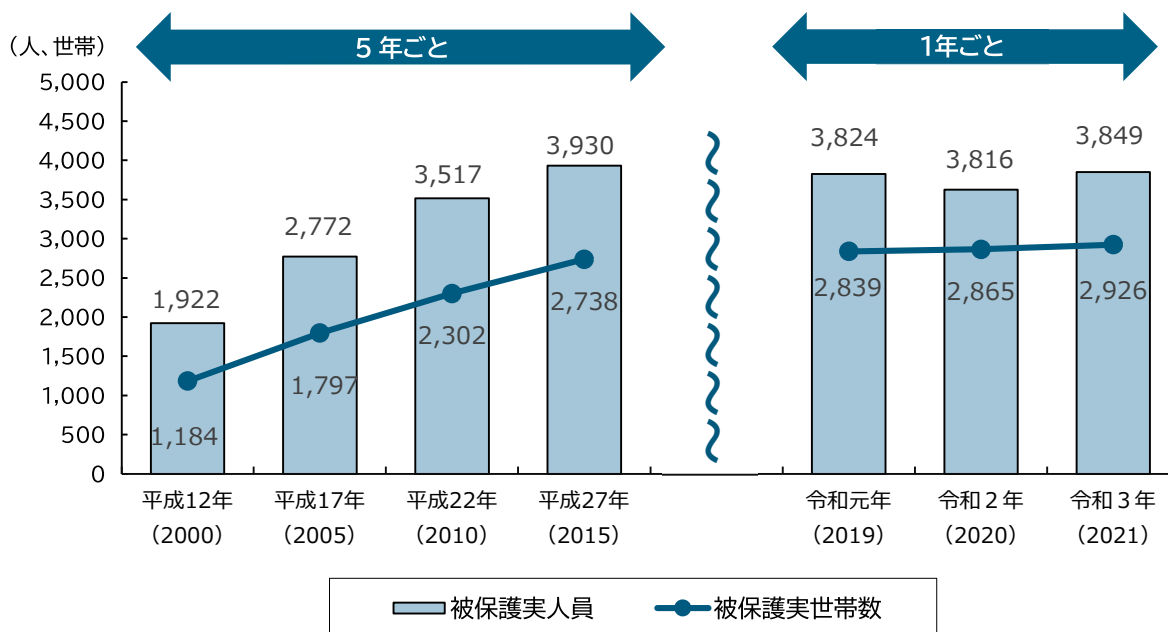


資料：川崎市健康福祉年報(各年度末)

(5) 生活保護の状況

① 生活保護受給者数は、近年ほぼ横ばい

高津区的生活保護の状況の推移

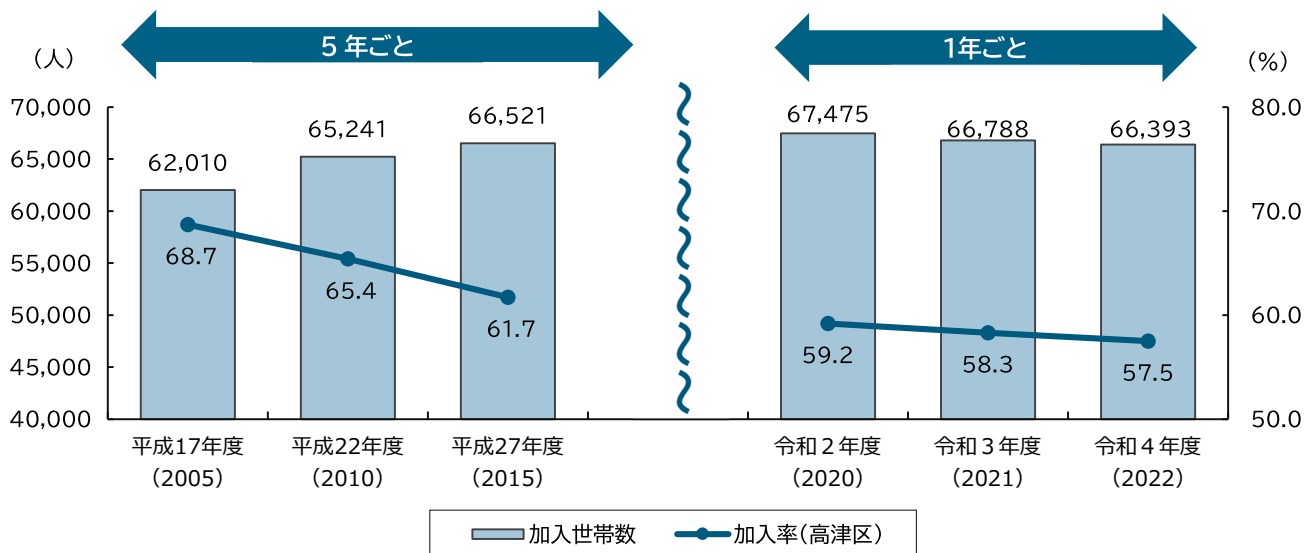


資料：川崎市統計書(各年度月平均。実人員には保護停止中を含む。)

(6) 地域福祉の状況

① 町内会・自治会の加入世帯数、加入率は低下傾向

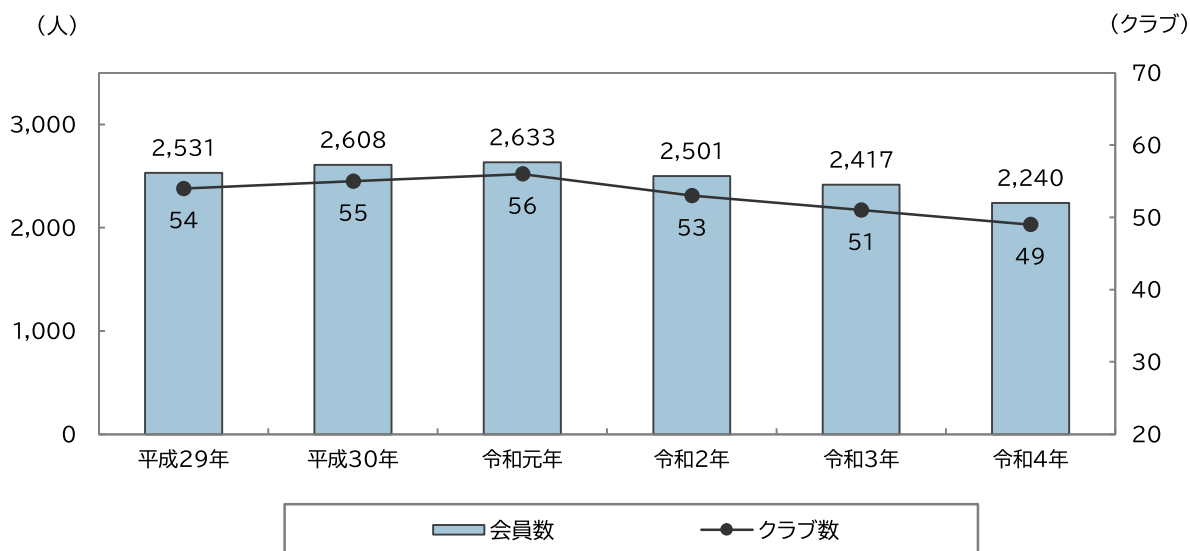
高津区の町内会・自治会加入状況の推移



資料：川崎市統計書「住民組織加入状況」
(各年度4月1日現在)

② 老人クラブは会員数・クラブ数共に減少傾向

高津区の老人クラブの状況

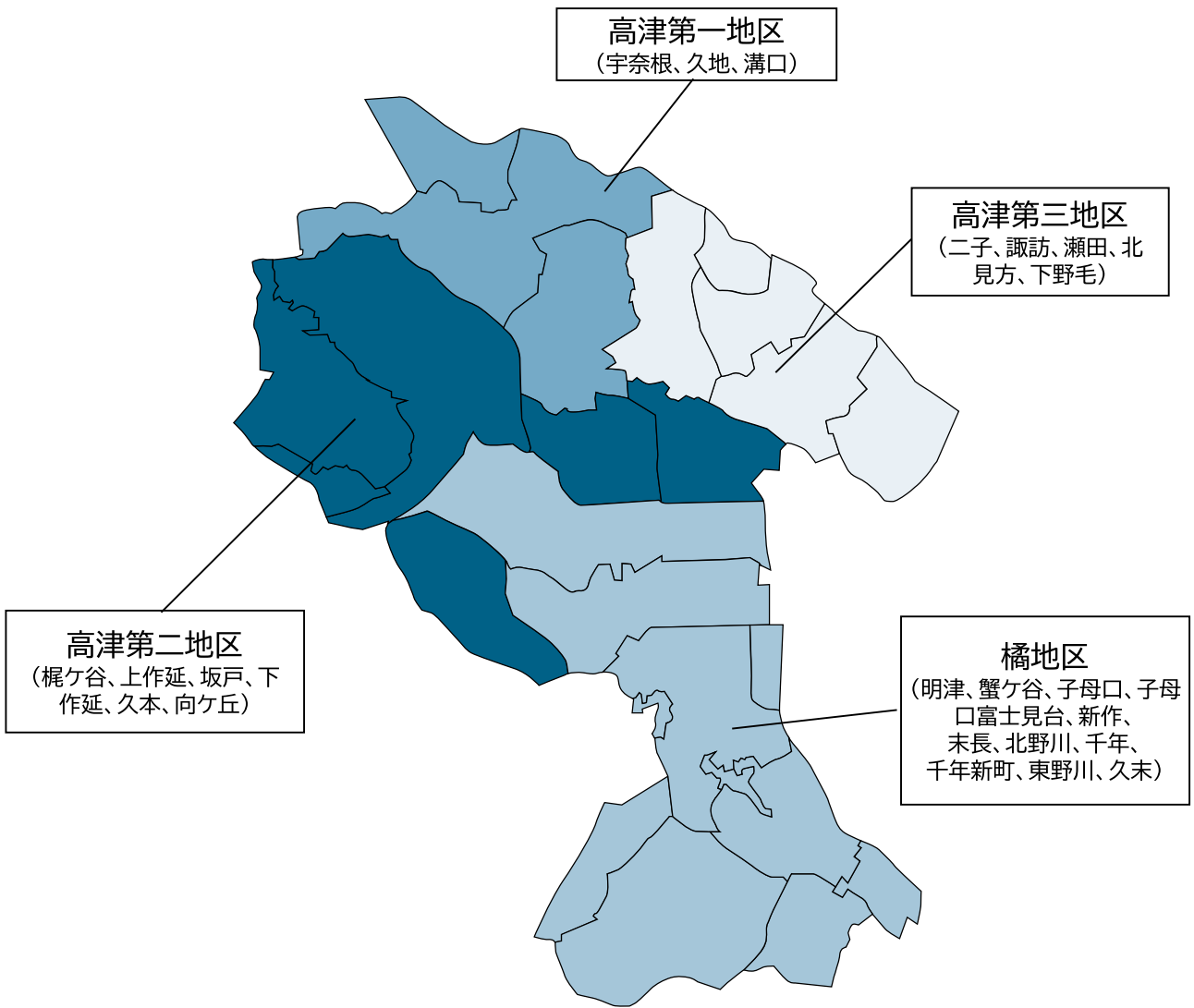


資料：川崎市統計書(各年度4月1日現在)

3 地区(地域ケア圏域)の概況

川崎市では、地域包括ケアシステム構築に向けて、地区カルテ等を活用した地域マネジメントを一層推進するため、市内を44の圏域に分け「地域ケア圏域」を設定しました。高津区においては、この圏域は地区社会福祉協議会の区域と同じエリアになります。

ここでは高津区の「地域ケア圏域(4地区)」を地区別に紹介します。



地区カルテ

人口などの統計データや地域資源、地域活動等を地域ケア圏域の4地区ごとにまとめたものです。お住まいの地域について情報を共有し、課題解決に向けた取組を進めていくためのツールとして活用できます。

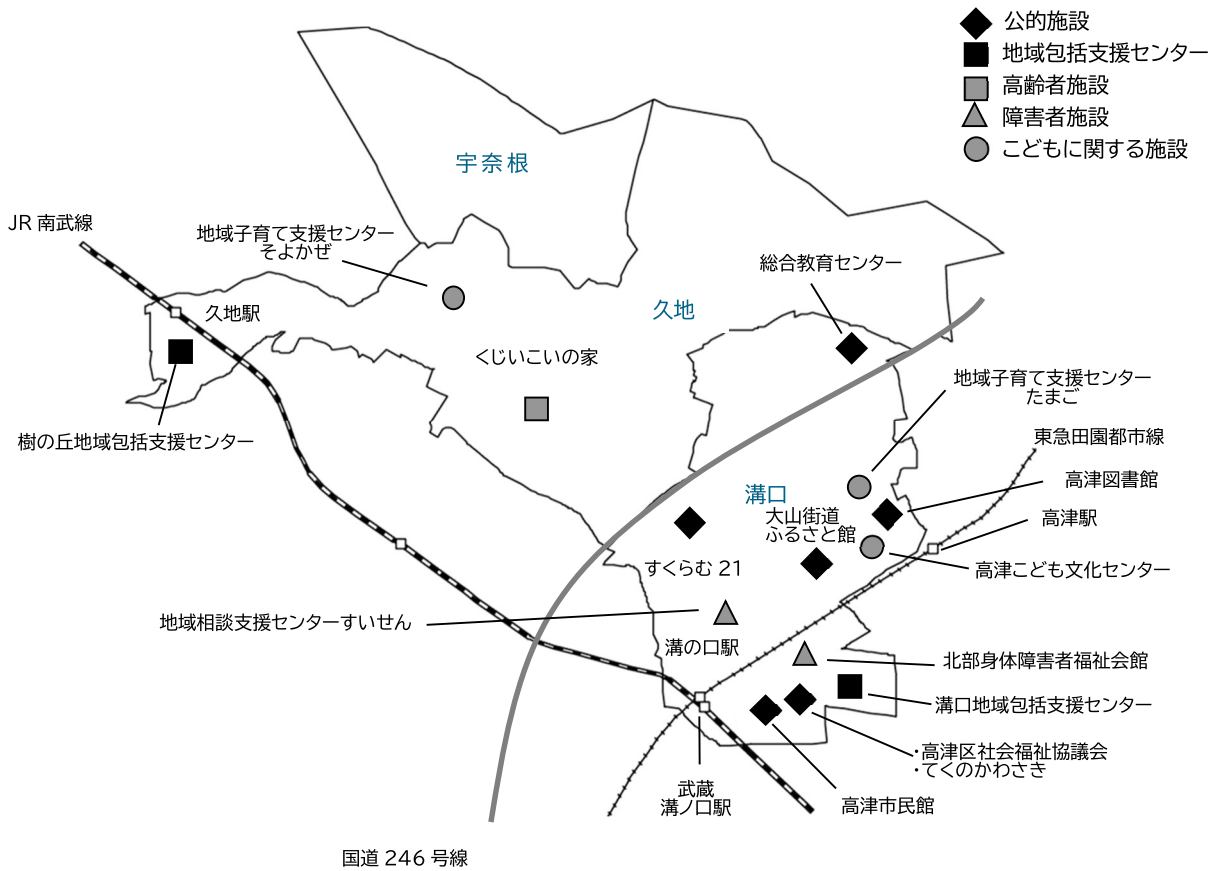
各地区の情報については、ホームページ上の「高津区地区カルテ」をご覧ください。



高津区地区カルテ [検索](#)

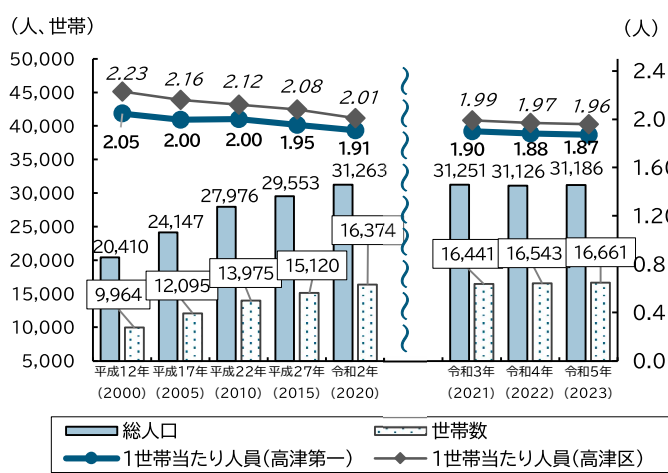
(1)高津第一地区(宇奈根、久地、溝口)

■ 地区の概況

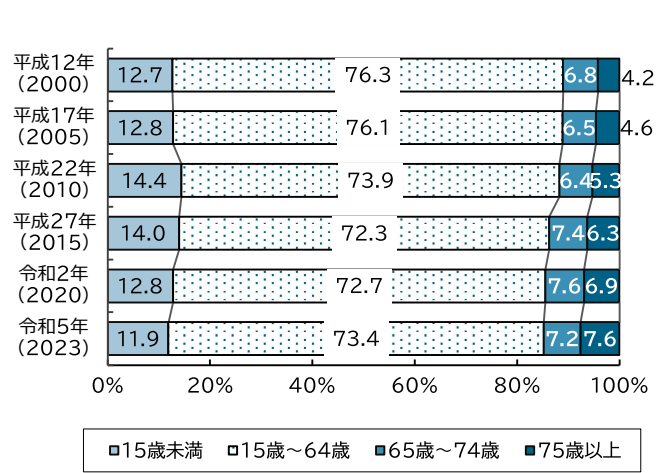


第1章 高津区はこんなまち

高津第一地区の総人口と世帯数の推移






年齢別人口割合の推移



※端数処理の関係で、合計値が100にならない場合があります。

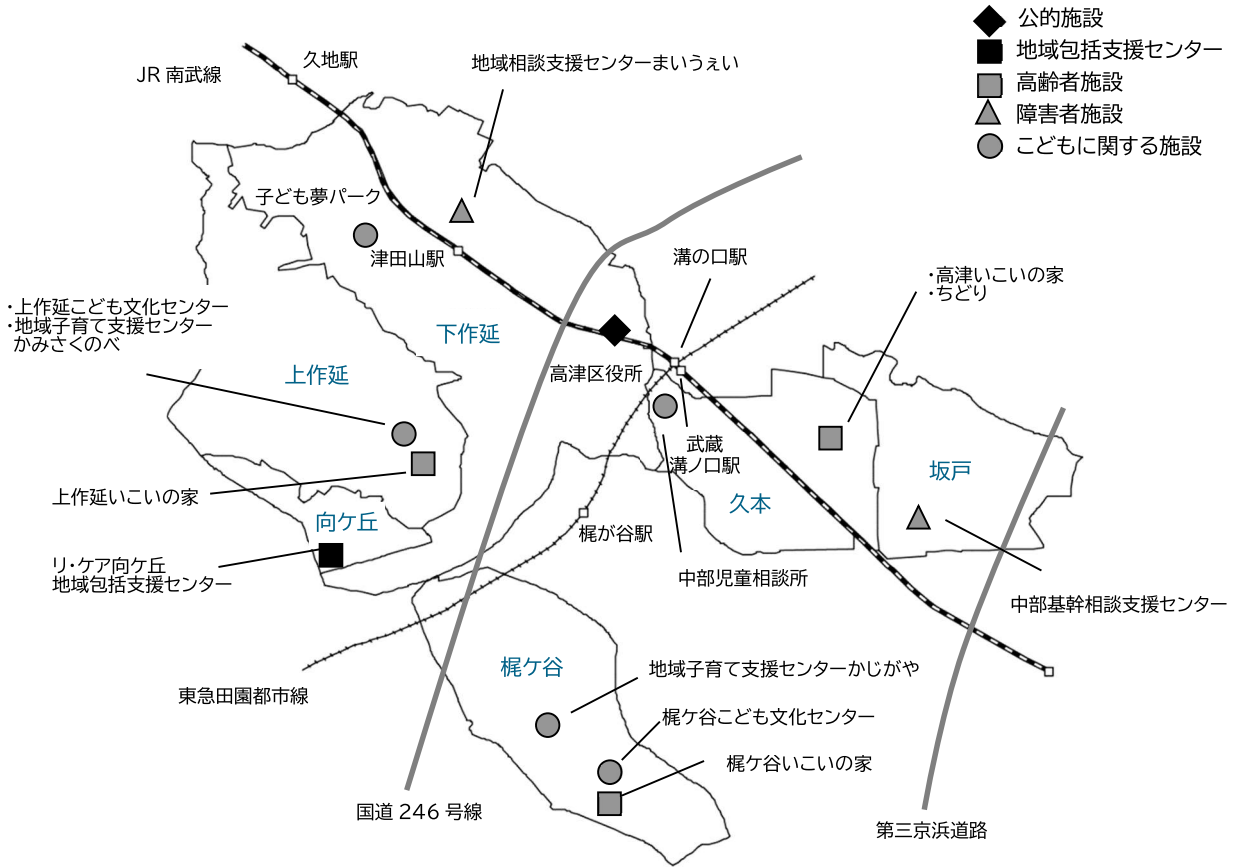
資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」「町丁別年齢別人口」(各年9月末日現在、令和5年は3月末日現在)

■ 地区の特色

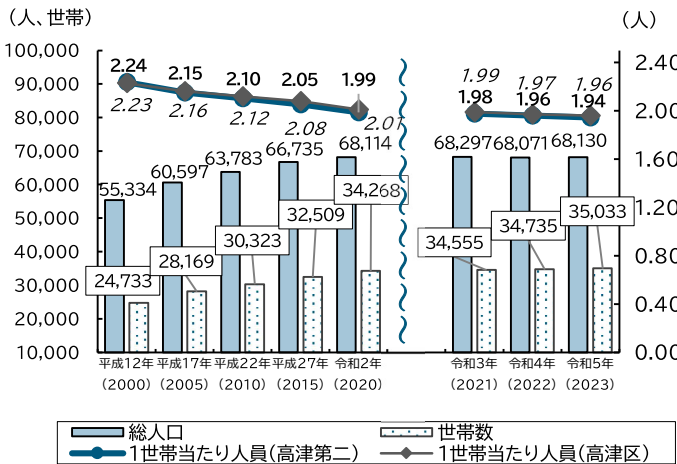
<p>地域環境</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・溝口地区は駅周辺に商業施設や医療機関が集まり、生活利便性が高い地域です。 ・久地、宇奈根には川崎のものづくりを支える中小製造業の工場が多くあります。 ・川崎市初の国登録有形文化財に登録された久地円筒分水や久地かすみ堤周辺は桜の季節にお花見も楽しむことができ、区民の憩いの場となっています。 ・久地一帯に広く存在していた梅林の一部が、現在は久地梅林公園となっています。 ・高津区の中では生産年齢人口の割合が最も高い地域です。 ・多摩川河川敷には多摩川緑地パークボール場(多摩川うなねパークゴルフコース)があり、誰でもパークボール(パークゴルフ)を楽しむことができます。
<p>施設</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・高津市民館、高津図書館といった生涯学習、文化活動施設のほか、すくらむ21(男女共同参画センター)、てくのかわさき(生活文化会館)、大山街道ふるさと館等の公共施設があります。 ・こども文化センターや地域子育て支援センターもあり、地域の子ども、子育て世帯が集う場となっています。 ・身体障害者への相談業務、ボランティアの育成及び援助、地域福祉活動を進めるための行事・講習会等を実施する北部身体障害者福祉会館があります。障害者及び福祉関係者が実施する会議、研修会のための会議室の提供も行っています。
<p>地域活動</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会で連携し、合同で防災訓練を行っているところがあります。 ・防犯パトロールや、高齢者の見守り活動を積極的に行っている町内会もあります。 ・地域の公園(溝口南公園、久地梅林公園等)で公園体操が活発に行われています。

(2)高津第二地区(梶ヶ谷、上作延、坂戸、下作延、久本、向ヶ丘)

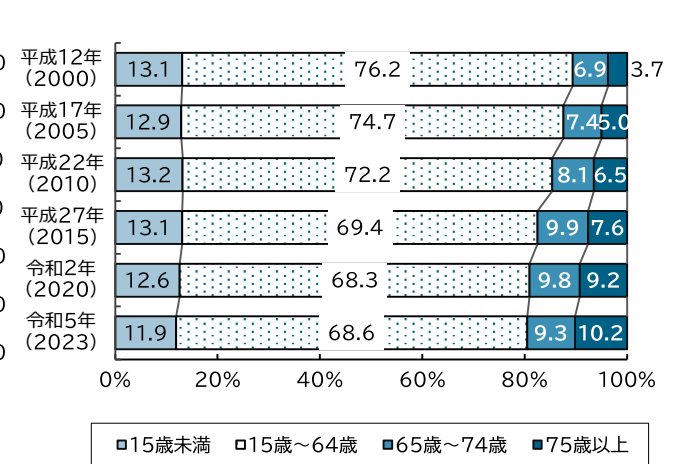
■ 地区の概況



高津第二地区の総人口と世帯数の推移






年齢別人口割合の推移



※端数処理の関係で、合計値が100にならない場合があります。

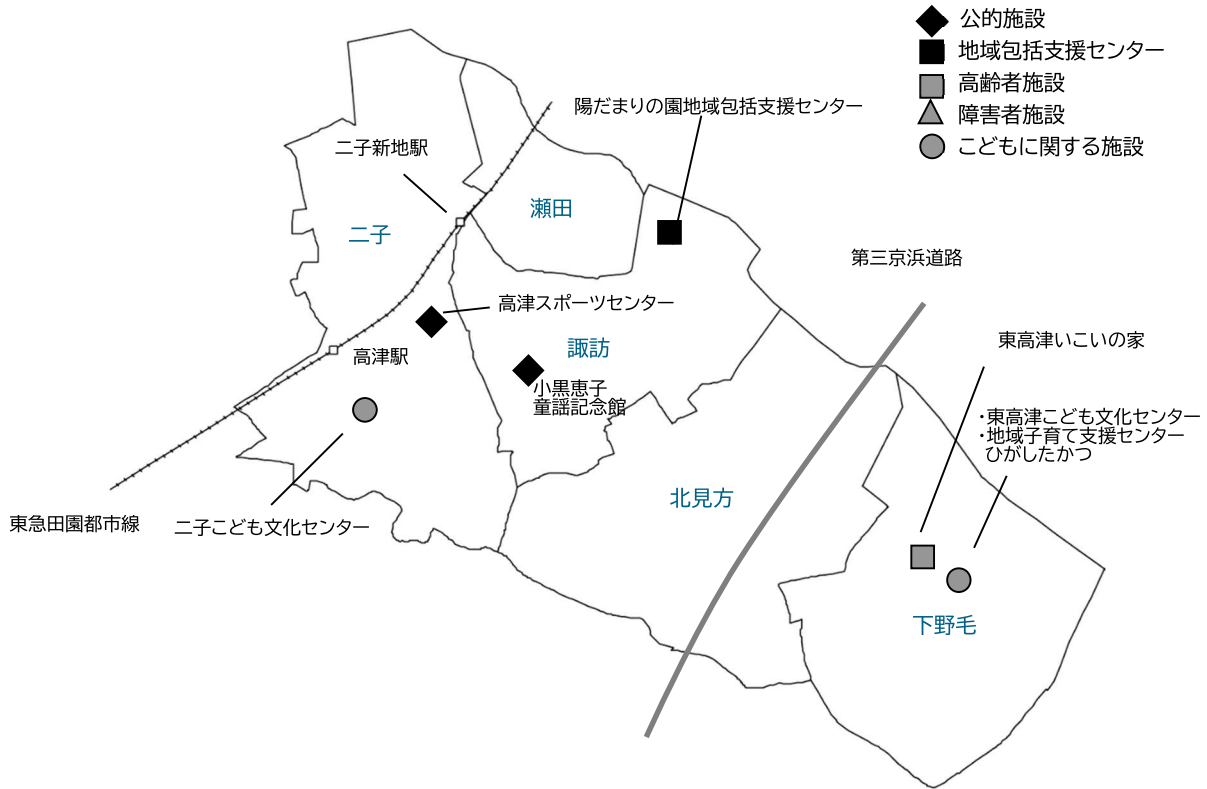
資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」「町丁別年齢別人口」
 (各年9月末日現在、令和5年は3月末日現在)

■ 地区の特色

<p>地域環境</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・下作延、久本地区はJR南武線や東急田園都市線の駅、上作延、向ヶ丘地区はバスの利用により、商業施設や医療機関へのアクセスもよい地域です。 ・古くからの戸建て住宅や大型マンションがある一方で、新築マンションの建築に伴う若年世代の転入もあり、生産年齢人口の割合はほぼ高津区の平均に近くなっています。 ・下作延の緑ヶ丘霊園の参道は区内最大の桜の名所としてお花見の時期には大勢の人で賑わいます。 ・梶ヶ谷第1公園は規模が大きく、地域の親子の遊び場、集える場となっているほか、朝のラジオ体操に多くの人に参加しています。
<p>施設</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・上作延いこいの家、上作延こども文化センター、地域子育て支援センターかみさくのべが同建物内にあり、地域住民のいこいの場、活動拠点となっています。 ・「川崎市子どもの権利に関する条例」の具現化をめざしてつくられた、子ども夢パークがあります。
<p>地域活動</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の公園(梶ヶ谷第1公園、上作延第二公園、下作延北ノ谷公園、不動ヶ丘公園、上作延いこいの家中庭)で公園体操が活発に行われています。 ・わくわくプラザ(各小学校に併設されている放課後や長期休業中等の児童の遊び場)で認知症キッズサポーター養成講座が開催されており、世代を超えたコミュニケーションにつなげる取組を行っています。 ・夏祭りや公園の清掃、防災訓練などの活動が町内会・自治会を中心に行われています。

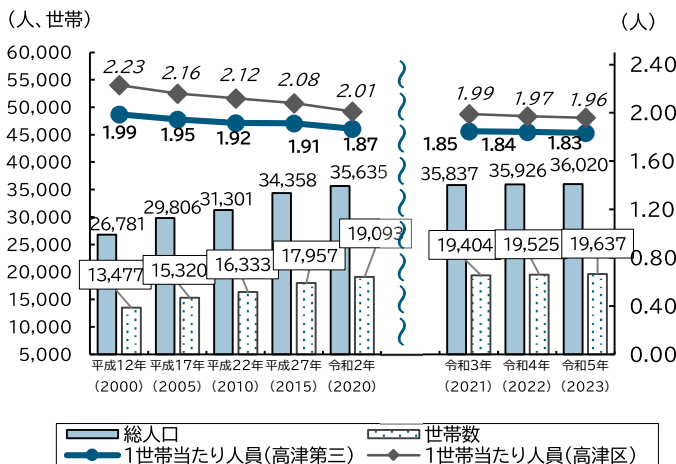
(3)高津第三地区(二子、諏訪、瀬田、北見方、下野毛)

■ 地区の概況

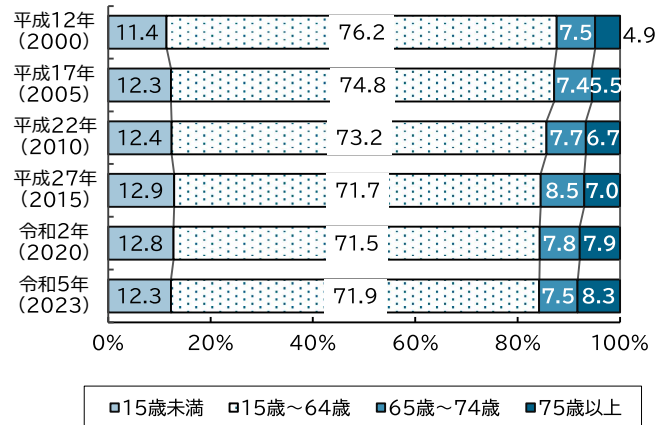


第1章 高津区はこんなまち

高津第三地区の総人口と世帯数の推移






年齢別人口割合の推移



※端数処理の関係で、合計値が100にならない場合があります。

資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」「町丁別年齢別人口」
(各年9月末日現在、令和5年は3月末日現在)

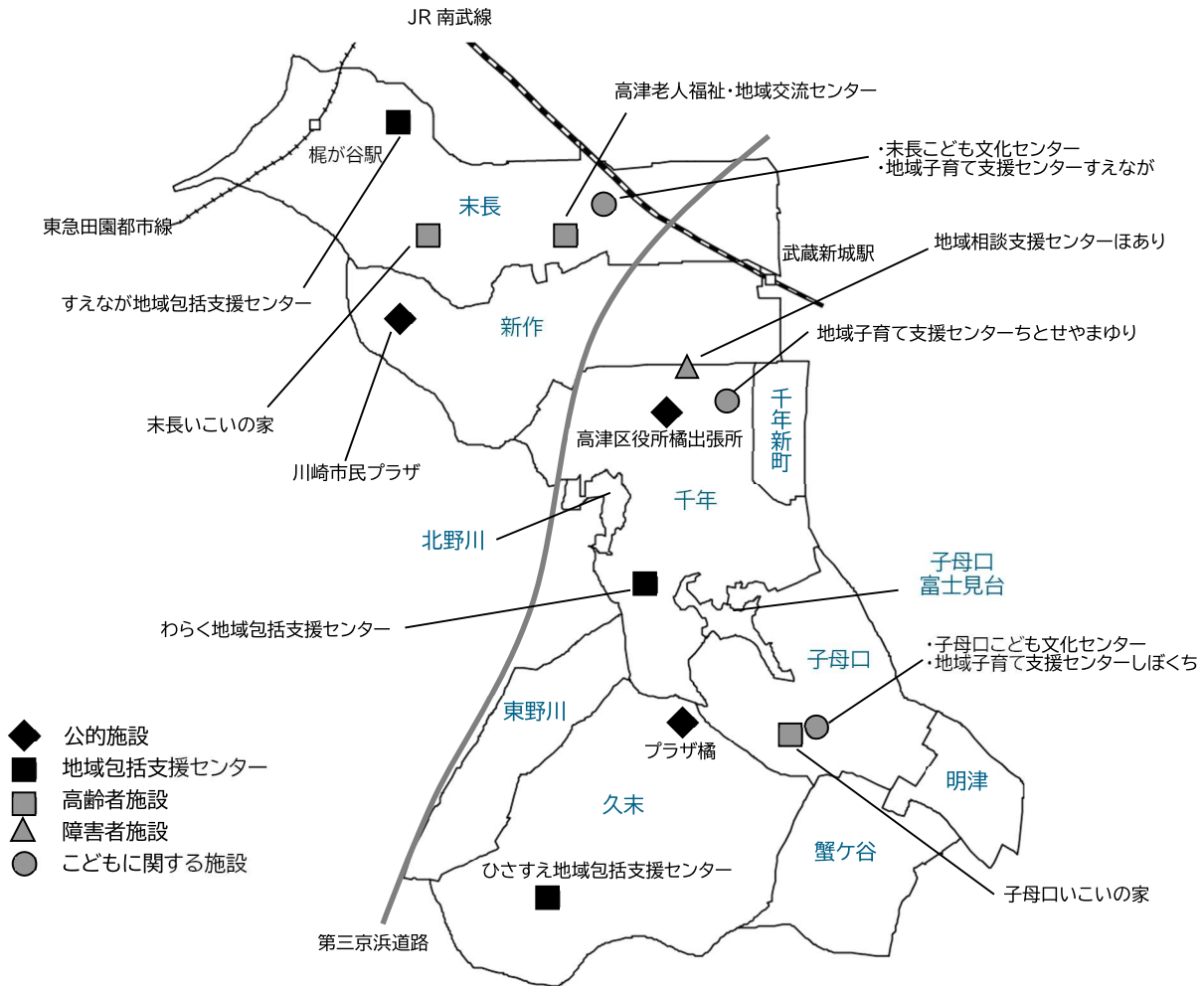
■ 地区の特色

<p>地域環境</p> 	<ul style="list-style-type: none">・二子、諏訪、瀬田地区は東急田園都市線の駅、北見方、下野毛地区は主にバスの利用が中心となるエリアです。・二子地区では大山街道沿いに古い町の面影を残しながら、新しいおしゃれなお店も見られます。・二子、北見方地区を流れる二ヶ領用水沿いは春には桜が咲き、ゆっくりとお花見を楽しめます。・下野毛地区には川崎のものづくりを支える中小製造業の工場が多くあります。・高津区の中では比較的、生産年齢人口の割合が高い地域になっています。
<p>施設</p> 	<ul style="list-style-type: none">・東高津いこいの家、東高津こども文化センター、地域子育て支援センターひがしたかつが同建物内にあり、地域住民のいこいの場、活動拠点となっています。・町内会館や神社の会館などの活動拠点も多く存在しています。・高津スポーツセンターがあり、健康づくりに関する様々な活動が行われています。・川崎市出身の詩人・童謡作家、小黒恵子氏の功績を紹介した「小黒恵子童謡記念館」があります。
<p>地域活動</p> 	<ul style="list-style-type: none">・地区内の公園(諏訪河原公園、北見方公民館広場、下野毛公園、二子神社公園)で公園体操が活発に行われています。・令和元年台風で被害を受けた北見方、諏訪は防災意識が強く、日頃から災害対策の物品の購入や訓練の実施など、災害に備えた活動を行っています。・二子地区にあるふたつの商店街では商店街を盛り上げる取組も行っています。・二子こども文化センターで「あつまれキッズ」が開催されており、子育て世代の交流の場となっています。・神社を拠点とした例大祭、盆踊りなどが盛んで、多世代交流の機会となっています。

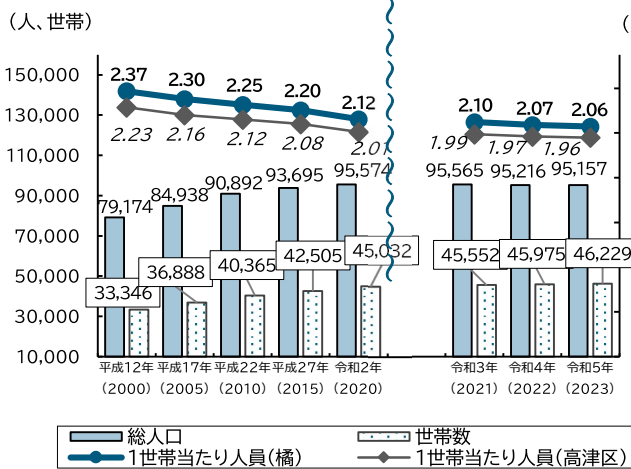
(4)橘地区

(明津、蟹ヶ谷、子母口、子母口富士見台、新作、未長、北野川、千年、千年新町、久末、東野川)

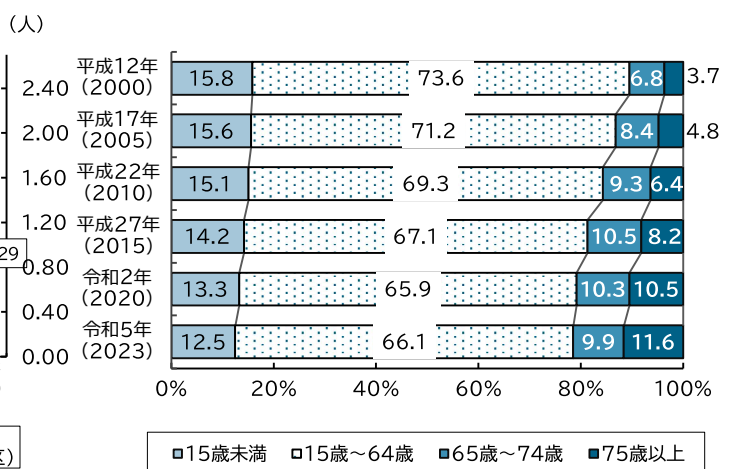
■ 地区の概況



橘地区の総人口と世帯数の推移






年齢別人口割合の推移



※端数処理の関係で、合計値が100にならない場合があります。

資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」「町丁別年齢別人口」(各年9月末日現在、令和5年は3月末日現在)

■ 地区の特色

<p>地域環境</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・久末地区をはじめ、農地や健康の森等自然が多く残っており、産地野菜の直売等も多くあります。 ・国史跡の橘樹官衙遺跡群や、蟹ヶ谷古墳群、子母口貝塚等歴史的に重要な史跡等があります。 ・川崎マイスターに認定された金属へら絞りの工場等、町工場も点在しています。 ・全体的に市営住宅やマンション等の集合住宅が多く、高齢化も進んでいますが、農地の売却による新築戸建てが増え、若い世代の転入も増えています。 ・JR南武線、東急田園都市線の駅に近い地域では戸建て住宅、マンションに子育て世帯も多く居住しています。 ・JR南武線の主要駅から離れている地区では、路線バスや自家用車の利用も多く、隣接する中原区、宮前区、横浜市等区外の交通機関(駅)を利用する方もいます。
<p>施設</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラザ橋と市民プラザがあり、イベントや講座等で市民に利用されています。 ・60歳以上の市民を対象とした高津老人福祉・地域交流センターがあり、高齢者の活動や交流の場になっています。 ・こども文化センター、地域子育て支援センターが同建物内にある施設が未長、子母口にあり、地域住民のいこいの場、活動拠点となっています。 ・上記施設の他にも保育園内に併設された地域子育て支援センターちとせやまゆりがあります。 ・町内会館や神社の会館などの活動拠点も多く存在しています。
<p>地域活動</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・橘地区内の公園20カ所以上で公園体操が活発に行われています。 ・運動会やお祭り、防災活動等の町会活動が大変盛んです。 ・町内会館や介護施設を利用した、認知症カフェ等の地域での居場所づくりが新たに始まっています。 ・プラザ橋で「あつまれキッズ」「子育てひろば」が開催されており、子育て世代の交流の場となっています。 ・プラザ橋と市民プラザ、高津老人福祉・地域交流センターを拠点に講座や市民活動等を通じた地域交流が活発に行われています。 ・高津区市民健康の森ではボランティア団体が緑の保全活動や蛍の飼育、竹炭焼き等の活動を行っています。